

令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名 【 書写 】
発行者名 【 東京書籍 】
教科書名 【 新しい書写 】

観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等
(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」の3段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。 (2) 単元の配列については、基本的事項を練習した後に国語科と連動させた言語活動「生活に広げよう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。
観点2 内容や指導の充実
(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、身近な硬筆の文字から課題をつかませたり、自己評価だけでなく、「ふり返って話そう」というコーナーを設け、仲間との話合いでふりかえりをさせたりする工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、低学年から水書による学習を取り入れて運筆を意識させたり、「書写のかぎ」で単元のねらいを明確に理解したうえで活動させたりする工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、習得した技能が他の文字にどのように生かせるかを考えさせたり、他教科の学習や日常生活に広げたりする工夫が見られる。
観点3 利便性の向上
(1) 学習効果や使用上の利便性については、学習事項がひと目で分かるインデックスや利き手を配慮した書き込み欄を設けることで、円滑な活動を推進するような工夫が見られる。 (2) 子どもにとっての分かりやすさについては、毛筆教材を実際の半紙に書いた手本に近い大きさを示すとともに、インターネットを使った動画学習ができるような工夫が見られる。
観点4 地域の教育の特色や児童の実態等
(1) 各種の教育課題に関わる題材や活動を取り上げ、書くことを通して、課題への理解を深められるよう配慮している。 (2) 第1学年の第1単元「たのしくかこう」は、全教科の学習の基盤として、スタートカリキュラムに組み込んで活用すると効果的である。 (3) 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて工夫されている。 (4) 左利きの子どもの学習しやすさを考慮して、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置し、利き手によらず教材文字が見やすいよう工夫している。